

全国登録委員会議事録

日時: 2010年1月14日(木曜) 11:00~12:00 (第72回大腸癌研究会)

場所: 久留米翠香園ホテル 2F 千歳

出席者: 浅野道雄、加藤知行、小平 進、固武健二郎、斉田芳久 (五十音順、敬称略) [事務局] 松井孝至

【まとめ】

1. 前回委員会議事録の確認
2. 報告事項
 - ① 登録作業の進捗状況
 - ② 登録情報利用申請
3. 討議事項
 - ① 診療科データベースの問題点、配布時期、配布方法
 - ② **Prospective registry** の再開について
 - ③ 肝転移データベースなど、関連するデータベースとの連携について

1) 前回委員会議事録が承認された。

2) 報告事項

- ① 登録作業の進捗状況
 - ・ 2009年8月に1999年症例の報告書(28号)を刊行した。
本報告書の集計表(表52-58)に訂正がある。訂正は次号の報告書に掲載する。
 - ・ 2009年9月から2000-2002年症例の登録を開始した。
- ② 登録情報の利用申請(2件)
 - a) 2009.8 防衛医科大学校外科 橋口陽二郎
 - b) 2009.12 慶應義塾大学医学部外科 長谷川博俊

3) 討議事項

- ① 診療科データベース(DB)の問題点、配布時期、配布方法

東邦大学大橋病院外科が開発したDBソフトをベースとした全国登録に利用可能なDBソフトを作成した。複数施設で試用して、収載内容や動作に問題がないことを確認したが、さらにソフトウェア専門家による点検を受けてから研究会施設に配布する。
- ② **Prospective registry** の再開について

上記のDB配布後に、規約第7版刊行後の症例(2007年~)の**prospective registry**を開始することを計画している。現行の疫学/臨床研究に関する倫理指針に準拠するためには匿名化が必要であるが、症例照会や追跡調査方法を検討する必要があることが指摘

された。

③ 肝転移データベースなど、関連するデータベースとの連携について

大腸癌研究会では「大腸癌肝転移の研究」プロジェクトで肝転移のDBを作成中であるが、全国登録はこのような関連するDBとの連携を図ることも課題であることが確認された。

(文責：固武健二郎)